

序章 共同研究の組織と研究の経過

宇野隆夫

日文研共同研究「古代東アジア交流の総合的研究」は、外国人研究員が主宰する国際日本文化研究センターの共同研究として 2007 年度に実施したものであり、その研究課題は序文に述べられたとおりである。

この研究課題を達成するために、以下のように研究者組織を編成して、共同研究を実施した。

<研究組織>

- 王 維 坤 (西北大学国際文化交流学院副院長, 研究代表者)
- 宇野隆夫 (国際日本文化研究センター教授, 研究幹事)
- 千田 稔 (国際日本文化研究センター教授)
- 山田奨治 (国際日本文化研究センター准教授)
- 合庭 惇 (国際日本文化研究センター教授)
- 中谷正和 (国際日本文化研究センター機関研究員, 現 同志社大学文化情報学部助手)
- 高瀬奈津子 (札幌大学文化学部准教授)
- 氣賀澤保規 (明治大学文学部教授)
- 妹尾達彦 (中央大学文学部教授)
- 土屋昌明 (専修大学経済学部教授)
- 矢野建一 (専修大学文学部教授)
- 錢 静怡 (一橋大学大学院経済学研究科博士後期課程)
- 川崎 保 (長野県埋蔵文化財センター調査研究員)
- 新宮 学 (山形大学人文学部教授)
- 関 清 (富山県埋蔵文化財センター所長)
- 小嶋芳孝 (金沢学院大学美術文化学部文化財学科教授)
- 菅谷文則 (元 滋賀県立大学人間文化学部教授)
- 田中俊明 (滋賀県立大学人間文化学部教授)
- 菱田哲郎 (京都府立大学文学部准教授)
- 井上満郎 (京都産業大学文化学部教授)
- 門田誠一 (佛教大学文学部人文学科教授)

- 井上和人 (奈良文化財研究所企画調整部国際遺跡研究室長)
 小澤 毅 (奈良文化財研究所埋蔵文化財センター遺跡・調査技術研究室長)
 中川あや (奈良文化財研究所都城発掘調査部研究員)
 林部 均 (奈良県立橿原考古学研究所総括研究員)
 臼井 正 (大阪産業大学講師)
 豊田裕章 (大阪府立豊中支援学校教諭)
 橋本義則 (山口大学人文学部教授)

<ゲストスピーカー>

- 杉山 洋 (奈良文化財研究所企画調整部展示企画室長)
 馬場 基 (奈良文化財研究所都城発掘調査部研究員)

<研究経過>

第1回共同研究会—井真成墓誌をめぐる諸問題 (2007年5月19日)

- 王 維 坤 「唐の留学生井真成墓誌の発現と新研究」
 氣賀澤保規 「遣隋使の見た隋の風景—あわせて北朝後期の山東仏教石刻をめぐる—」
 矢野建一 「井真成研究—その後の動向—」
 土屋昌明 「開元期前後の長安道教の状況」

第2回共同研究会—古代東アジアの都市 1 (2007年7月21日)

- 王 維 坤 「唐の長安城大明宮含元殿の発掘と竜尾道の復元—渤海の宮殿と平城京・平安京の宮殿から見る—」
 田中俊明 「朝鮮三国の王都」
 妹尾達彦 「隋唐の長安と洛陽—城内における官人居住地の変遷を手がかりに—」
 新宮 学 「近世中国の都城建設過程—大都・中都・南京・北京—」
 小嶋芳孝 「渤海の遺跡分布と都城」

第3回共同研究会—古代東アジアの都市 2 (2007年10月20-21日, 奈良県明日香村で開催)

- 林部 均 「飛鳥宮の形成とその構造」
 小澤 毅 「藤原京の成立と構造をめぐる諸問題」
 井上和人 「平城京形制研究の現段階」
 橋本義則 「長岡京と平安京成立の諸問題」
 臼井 正 「古代日本の都城の方位」

第4回共同研究会—古代東アジアの墓制ほか (2007年12月2日)

- 宇野隆夫 「漢皇帝陵の設計・配置原理と漢長安城」
 王 維 坤 「ソグド人墓の発見と最新研究」

門田誠一 「朝鮮三国時代墳墓にみられる中国文化と思想」

杉山 洋 「日本古代の墓制」

豊田裕章 「中国における都城の概念の変化と日本の宮都」

付論：阮謙撰『周室王城明堂宗廟図』について

高瀬奈津子 「唐後半期における財政政策の方向性と政策決定の場について」

第5回共同研究会—古代東アジアの文物交流（2008年3月15日）

王 維 坤 「金銀器にみる東西文物交流」

アレキサンダー・ヴォヴィン 「神聖の剣と魔法の領巾—言語学と歴史学の接点—」

川崎 保 「縄文時代の玉製品に見られる大陸文化の影響」

関 清 「東アジアにおける日本列島の鉄生産」

馬場 基 「古代の交通」